

日光連山：白根山

- ◆日程 2020年11月7日(土)
- ◆メンバー L: OT, SD, KH
- ◆天候 曇時々晴

日光の二座を巡る焚火付きテント泊の豪華プランだ。10月17日の計画の再設定だが、白根山のキャンプ場は11月17日に、ロープウェイは18日に終了となってしまふ。しかも二日目に予定する男体山は11月11日に閉山してしまうのでこの週末が最後のチャンスだ。

白根山へはロープウェイで一気に標高を稼ぐ。運航開始直後にスタートできるよう、前日出発とした。金曜20:15に下永谷駅で集合し、一路丸沼高原へ。駐車場に車はまばらだ。

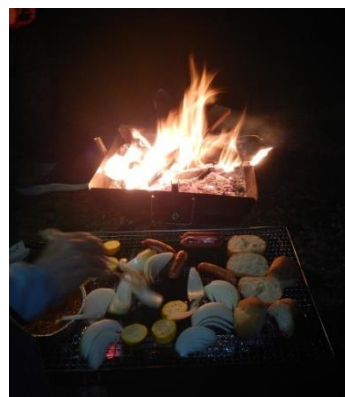
朝、ロープウェイの運転開始待ちの客は少ない。山頂駅から暫くは苔むす樹林帯の緩やかな登り。八ヶ岳の行者小屋へのアプローチのようだ。週の初めに20センチほどの積雪があったため本格的な雪山装備で臨んだが、周りのハイカーは軽装備で僕らのようにピッケルまで持ってきている人は誰もいない。暫くして雪が多くなってきた。とは言え12本爪アイゼンを出すほどではないので、チェーンスパイクを装着。足元が安定して、歩行速度が戻ってきた。森林限界を超えると、視界が開け積雪が眩しい。



最後のひと踏ん張りの後に着いた山頂では、雲があるものの、360度の展望が待っていた。明日登る男体山は雪が全く付いておらず、雪山装備は不要のようだ。下をのぞくと五色沼が見える。生憎の曇り空であり青くない。

昼食後に下降して池巡りに向かう。五色沼のほとはシーンとして日本庭園の様な趣もある。風もなく過ごしやすい。名残惜しいが、先に進む。すぐ一段上の弥陀ヶ池は凍っていて、全く違った様相だ。下りの途中にある七色平は枯れ野原の半分を雪が覆っていた。

下山後、早速キャンプ場へ移動。と言ってもすぐそばだ。ロープウェイ下のスキー場を無雪期にキャンプ場として開放しているだけなのだが、トイレはウォッシュレット付きだし、電源付きのサイトもある。暗くなる前にテント設営して直ぐに温泉に向かう。芯まで温まったら湯冷めしないうちに焚火だ。SDさんが薪や炭、焚火台そして、大量の肉、パンを持ってきてくれた。KHさんはズッキーニやラタトゥイユ、薩摩芋、僕は大量のウィンナーと玉葱、薩摩芋をそれぞれ持ち寄った。3人には手に余るほどの食材だ。僕のBBQコンロと両方に火を起こしたので暖かい。多少小雨がぱらつくが、寒くはない。旨い旨いと言いながらどんどんお腹に放り込む。これでもかというくらいに色々食べることができ、大満足の晩餐で一日を締めくくった。やっぱり持ち寄り焚火会は楽しい。(記: OT)



CT:ロープウェイ山麓駅8:00=山頂駅8:20 - 大日如来9:05 - 山頂11:15/11:50 -
五色沼避難小屋 12:40/12:55 - 五色沼 13:10 - 七色平 14:20/14:30 - 山頂駅
15:00=山麓駅 - 丸沼高原オートキャンプ場(泊)